

①学習課題（中学校 1 年生）



【国語】

<内容>

教科書の「ちょっと立ち止まって」（P49～P52）を読んで、筆者の工夫などについて、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。

<取り組み方>

- ① 「ちょっと立ち止まって」を 3 回音読してみよう。
 - ② 形式段落に 1 から順に番号をふろう。
 - ③ 教科書の 3 つの図がそれぞれ 2 種類の絵に見えるか、じっくり見てみよう。
 - ④ 教科書の 3 つの図が、それぞれどのような絵に見えるのか、まとめてみよう。
 - ・例) 1 つめの図は最初〇〇〇に見えたが、△△△に着目して見ることで、□□□に見えるようになった。
 - ⑤筆者は何のために 3 つの図を提示したのか、自分の考えを書いてみよう。
 - ・ 3 つの図は、それぞれどのようなことを説明するためのものだろうか。
 - ・ 3 つの図があることで、読みたいと思ったり、分かりやすくなったりしているだろうか。
 - ⑥ 筆者は、どんな工夫をして、どんなことを述べようとしているのか、文章にまとめて家の人に伝えてみよう。
 - ・ 工夫については、⑤を参考にしてみよう。
 - ・ 筆者が題名を「ちょっと立ち止まって」とした理由を考えてみよう。
 - ・ 例) 筆者は、〇〇などといった説明の工夫をして、読者に対して「ちょっと立ち止まって□□□□してほしい」ということを述べている。
- ※①～⑥に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。
- ※⑥について、家の人に伝えるのが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するということでもかまいません。

【社会】

＜内容＞

【４回連続で取り組む課題の２回目となります。各回で取り組み方が異なりますので、示された方法に沿って取り組みましょう。】

なぜ、世界各地では人々の生活に様々な特色が見られるのでしょうか。また、なぜそれは変容するのでしょうか。取組シートやノートにまとめてみよう。

＜取り組み方＞

- (1)教科書 P30～31 を見ながら、「温帯に暮らす人々の様子」についてまとめよう。
- (2)教科書 P32～33 を見ながら、「冷帯や寒帯に暮らす人々の様子」についてまとめよう。
- (3)「温帯に暮らす人々の様子」と「冷帯や寒帯に暮らす人々の様子」を比べたとき、どのような違いがあるだろうか。違いが分かるように、文章でまとめてみよう。
- (4)「温帯に暮らす人々の様子」と「冷帯や寒帯に暮らす人々の様子」を比べたとき、共通点（同じようなところ、似ているところ）はあるだろうか。もしあれば、取組シートやノートに記入しておきましょう。

※発展として、(3)(4)については、前回学習した「熱帯に暮らす人々の様子」「乾燥帯に暮らす人々の様子」とも比較してみよう。なお、これについては、次の取組で整理する予定です。

＜学習のヒント＞

- (1)(2)前回同様、衣食住などに注目するとまとめやすいですね。

【数学】

＜内容＞

自然数を、いくつかの自然数の積の形に表そう。

～素因数分解を使って最大公約数を求めることができるかな？～

＜取り組み方＞

- ① 42 を 2 数の積の形で表してみよう。
- ② ①で表した積の形の 2 数のうち、素数でないものは、さらに 2 数の積の形で表し、42 を素数である約数だけの積の形で表そう。
- ③ 150 を素因数分解しよう。また、効率よく素因数分解するために工夫したことを「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明しても良いです。）
- ④ 素因数分解を使って、60 と 80 の最大公約数を求める方法を考えよう。

＜学習のヒント＞

- ① $42 = \bigcirc \times \bigcirc$ という形で表してみよう。42 の約数を考えるといいね。
- ② 例えば、30 を 2 数の積の形で表すと、 $30 = 2 \times 15$ と表すことができます。2 数のうち、2 は素数です。15 は素数ではないので、さらに 3×5 のように積の形で表すことができます。これを繰り返すと、 $30 = 2 \times 3 \times 5$ のように、30 を素数である約数だけの積の形で表すことができます。このように自然数を素数である約数だけの積で表すことを素因数分解といいます。42 はどのように表すことができるか考えてみよう。素数について分からない場合は、補助教科書 P2 のふりかえりを見てみよう。
- ③ ①、②を繰り返すと素因数分解することができます。また、補助教科書 P2 の下の図のように枝分かれするような図を使う方法や P3 のように順にわっていく方法があります。自分なりに分かりやすい方法で素因数分解してみよう。
- ④ 2 つの整数の共通な約数のうち、一番大きい約数のことを最大公約数といいます。小学校のときは、それぞれの約数を見つけていましたが、中学校では、共通な素因数の積を作れば最大公約数を求めることができます。補助教材 P4 を参考にし、求めてみよう。

【理科】

＜内容＞

◆気体にはどのような種類があり、どのように集めることができるか調べてみよう。

＜取り組み方＞

- ① 知っている気体の名前を書いてみましょう。
- ② それぞれの気体について、性質や特徴をまとめてみましょう。特に、下記のポイントについては、しっかりと記録しましょう。
 - ・水にとけやすいか、とけにくい。
 - ・空気より軽いか、重いか。
- ③ 各気体の性質や特徴をもとに、どのような集め方ができそうか書いてみましょう。

＜学習のヒント＞

- ・空気にはどのような気体が含まれていたか確認してみましょう。
- ・＜取り組み方＞の①で考えた気体以外にも、教科書 P140～P143 を参考にまとめてみましょう。
- ・気体の集め方については、教科書 P138 を参考にしてみましょう。

【英語】

<内容>

◆教科書 P25 Program 2 ① 2人の生徒が教室で初めて出会い、互いに自己紹介をしている場面です。会話を読んで、次のことに取り組みましょう。

（教科書P141～の巻末資料8で、単語や熟語の意味を調べることができます。）

<取り組み方>

(1)教科書 25 ページの英文を見て、2人の会話の内容について、考えてみましょう。

- ① 2人の名前は？
② 男の子は、なぜ自己紹介をしたのか。
③ Nice to meet you. は、どんな時に使うあいさつなのか。

(2)教科書 25 ページの下方 Write のコーナーにある4線に書かれた2つの英文を「取組シート」または「家にある英語のノート」に書き写しましょう。

★どちらかを選択しよう。→ **基本**そのまま書く。**挑戦**名前を変えて書く。

- ①「私は**マイク**です。」 **挑戦はこちら** マイクを**自分の名前に**。
②「あなたは**ユキ**ですね。」 **挑戦はこちら** ユキを**身近な人の名前に**。

※P28「単語・文の書き方」を参考にしながら、英文を書いてみましょう。

(3) **挑戦問題** ★オリジナル動画を見て取り組む問題です。

※右のQRコードが読み取れない場合は下記URLを入力してください。→

<https://youtu.be/ovEQHA42AuI>

A L Tの先生のお話を聞いて、<1>、<2>に取り組みましょう。

<1>分かったことをメモしましょう。

「名前は？」「出身地は？」…その他にも分かったことはあるかな？

<2>6年生の We Can! ②の学習を思い出しながら、英語で答えてみましょう。



<学習のヒント>

■名前の書き方

英語で名前を述べる時には、「姓 名」または「名 姓」、どちらの順番も正解です。教科書では、「姓 名」の順番で名前を述べています。

名前の書き方は、下の補助教材動画を参考にして学習してみましょう。

■学習補助教材動画を配信しています。必要に応じてご活用ください。

小学校、中学校で共通して学習する内容を紹介しています。

http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/english_hojyo.html

<配信内容>

「名前の書き方」「アルファベットの大文字・小文字」「月」「序数（日付）」「食べ物」「スポーツ」「国」「色」「教科」「状態」「職業」「日常生活」など



※「取組シート（外国語）」は、札幌市教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。

動画の解説もあります



【 保健体育 】

＜内容＞「体づくり運動」でねらいの異なる4つの運動に取り組んだことを基にして運動の計画を作成し、実践してみよう。

＜取り組み方＞

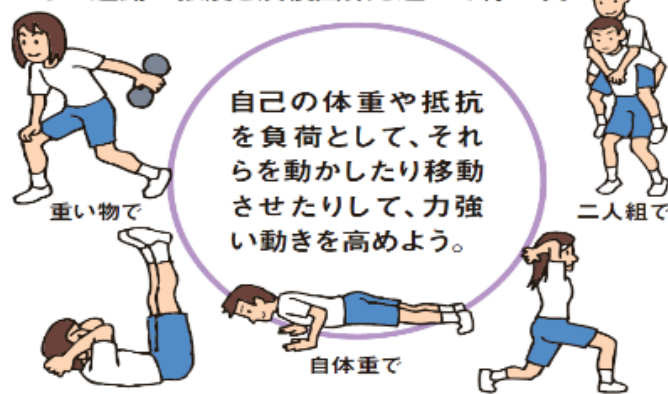
動画 URL <https://youtu.be/pMAbhDazzTY>

動画とイラストを参考に関節や筋肉の動きにあった運動を選んでやってみよう。

③【力強い動き】＜6月1日～5日＞

今週はココ

繰り返すことのできる最大の回数などを手がかりに、無理のない運動の強度と反復回数を選んで行おう。



☞力強い動き ※やってみた運動を書いてください

☞自分に合った運動の強度にするための工夫を書いてみよう。例：フロントランジで力強く跳ねるように戻る。

※今週は力強い動きについて行いました。

来週以降④⇒⑤と進んでいきます。

＜学習のヒント＞

- 力強い動きができるようになったら、運動の強度を調整して挑戦してみよう。
- 室内で行う場合も安全に留意して行いましょう。

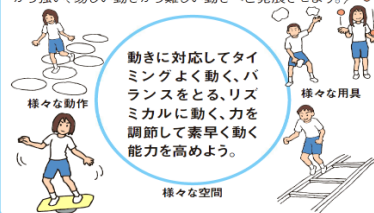
①【体の柔らかさ】＜5月18～22日＞

どの部位を解しているのかを意識しながら、可動範囲を徐々に広げるような、負荷の少ない動的な運動から始めよう。



②【巧みな動き】＜25日～29日＞

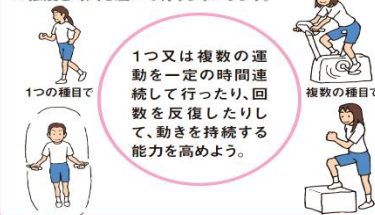
ゆっくりした動きから素早い動き、小さいから大きい、弱いから強い、易しい動きから難しい動きへと発展させよう。



今後の見通しです。
今週はやらなくていいです。

④【動きを持続する能力】

心拍数や疲労感などを手がかりにして、無理のない運動の強度と時間を選んで行うようにしよう。



⑤自分なりに効率よく行う運動やバランスよく高める運動の組み合わせ方を見付けよう。

■①～④の中から2つを選ぼう

--	--

■運動後に実感した効果を考えてみよう

--